

「聖徒たちを整え主の教会を建て上げる」エペソ4：11-16 堀田修一 22・4・3

I 「キリスト御自身が…ある人たちを…牧師また教師としてお立てになりました」：11。キリストの召命とキリストの教会の承認。すべては主のご計画。この世に偶然はない。すべてを神が支配し計画しておられる。パウロの証言「母の胎にあるときから私を選び出し、恵みをもって召してくださった神」ガラテヤ1：15。工藤元貴伝道師は、母の胎にあるときから神が選び、恵みをもって本日、主御自身が札幌ライトハウス教会の牧会者としてお立てになるのです。すべての牧会者も。「キリスト御自身が」という主語を心に刻みましょう。

II 「それは、聖徒たち（主の十字架の血と聖霊により聖別され神のものとされたキリスト者）を整えて」主の教会を建て上げるため。

1. 他の人を整えるためには、自分自身が整えられ続ける必要。「自分自身にも、教える事にも、よく気をつけなさい。働きをあくまで続けなさい。そうすれば、自分自身とあなたの教えを聞く人たちとを、救う（救いと成長を含む）ことになるのです」I テモテ4：16。毎朝、祈りとみことばのでボーション。霊的養いの時。試練の時こそ主の恵みを数えノートに感謝を記す習慣による主の支え。※私はこの44年、まず自分自身がみことばにより養われることを実践。説教、宣教する聖書のみことばに自分がかげ離れている自覚するとき、自分を会衆の中に自分を置いて、自分自身にも語りかける※母の介護

2. 整えるの原語の元々の意味は、「一つのからだに、皆を合わせていく」「はずれてしまった骨を戻していく。神から離れていた私たちが、神の元に戻され、本来の位置、神との良い関係の位置に戻される。キリストのからだのお互いが、牧会者が与えられる事で新しい位置に置かれ、結び合わされ、それぞれが神からの賜物を発揮し、調和し合い、主の教会を建て上げていく。「整える」の原語が使われている箇所=①「聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。神の人がすべての良い働きにふさわしく、十分に整えられた者となるためです」II テモテ3：16, 17。※私の失敗。牧会の最初、一人一人をみことばで整える教会形成ではなく、人数集めの牧会をしてしまった。人数は増えたが、分裂をした。主は、私の高慢を砕き、「あなたは、人数集めの牧会ではなく、一人一人をみことばで養い整えなさい」と教えられた。それをこつこつと実行したとき教会は成長していった。もちろん試練は有りながら。試練と主の祝福は共存する。

②過ちに陥った人を「柔和な心でその人を正してあげなさい」ガラテヤ6：1。牧会者は、教会の中で、過ちに陥った人を柔和な心、謙遜な心、愛の心で、正す役割がある。これは、祈りつつ神から勇気と愛をいただく必要がある。それにより成長させられる。※証し：牧会者も人から愛の忠告を受けるとき、聞く耳、心を持つ柔和、謙遜さが必要。牧会者も信徒も愛の忠告を聞く柔和さ、謙遜さがある教会は一致を保ち成長していく。皆、途上の器。牧会者と教会員共に交わり主が育てて下さる。

3. 神と人の前に誠実。神にも人にも謝る謙遜。完璧な牧会者、信徒はいない。家族にも誠実。誠実に謝る事は尊敬を失わない。信徒、家族との関係。※失敗から学ぶ証し。整えられるとは、完璧な人になることではなく（それは無理）、自分の弱さ、失敗を認める誠実さが養われている人。神のご支配の中、失敗から学ぶ。※これは私の宝。そのような神の人は、信頼され（真のリーダーシップ）、支える人が多く与えられ、共に主の教会を建て上げるように導かれる。※ロシアのリーダーは信頼されているか？

4. 整えられるとは、牧師夫婦の「愛をもって真理、真実を語り」：15合う交わりと祈り合い。※夕食後に妻と実践。幸いな時。妻の助言貴重。礼拝の後、説教への助言。どの牧会者も奥さんの支えで、50パーセント、いや80パーセントのおかげと自覚し感謝しています。牧師と信徒の関係も。「愛をも

って」とは、真理を語る前に、相手のことば、気持ちに耳を傾ける関係作り。それが先にあって、初めて相手は真理に耳を傾ける。宣教、説教は、語る会衆を愛して語る。祈りを持って。※求道者や信徒との聖書の学び。牧会年数と共に、まず、相手に耳を傾けるように導かれている。テキスト通り行かなくても。信頼関係を経て、真理、福音を語る時、相手は真剣に耳を傾ける。

5. 整えられるとは、教会の支配者は、頭であるキリストのみと認め合い、教会では人が支配しない、人からも支配されない関係を育てる。牧師は「割り当てられた人たちを支配するのではなく、むしろ群れの模範（神と人の前に誠実）となりなさい」Ⅰペテロ4：3。牧師は信徒を支配しない。と同時に、牧師は信徒から支配されない。共に、唯一の支配者である主とみことばに、へりくだり聞く一致を保つ。

6. 整えられるとは、牧師も信徒も、働き、奉仕すべき時と休むべき時には休み、心と体を正しく管理する事を学んでいる人。「さあ…しばらく休みなさい」マルコ6：31

7. 整えられるとは、人のための心から祈ると同時に、自分の弱さを自覚し、私のためにも祈って下さいと心から要請できる人。パウロの模範「私のために祈って下さい」ローマ、エペソ、コロサイ、Ⅰテサロニケ、Ⅱテサロニケ

7. 整えられ続ける人とは、協調性（ヤコブ3：17）と神から与えられた自分らしさ（神の賜物。Ⅰペテロ4：10）を保つバランスのある人。

Ⅱ「奉仕の働きをさせ」。整えられながら奉仕をする面と奉仕をしながら整えられる（主の教会に結びあわされる）面の両方がある。1. 私たちは、奉仕をしながら成長し整えられる。バランスが必要。洗礼の学び、洗礼後の学びがなされないと、整えられないまま、奉仕を任せられ、負担となり、教会を離れる人がある。また逆に、ふさわしい奉仕を教会の建て上げのため、何もしないと、教会に所属している自覚が成長せず、傍観者として無責任に教会の欠けを批判する人となる。

2. お互い神が、それぞれに与えられた賜物を見つけ励まし合い感謝し合いたい。「感謝の心を持つ人になりなさい」コロサイ3：15。霊的に整えられる人は、神と人に感謝する人である。私は、日々、神と人に感謝することをとても大切にしている。感謝の心は、伝染し、教会の一致、委員会の一致、小グループの一致を強める。44年、多くの失敗、試練の中で、主の恵みを数えての感謝と人への感謝は、私に霊的な愛と力を与えて下さっています。

3. 教会員の「それぞれの部分はその分に応じて働くことにより成長して」：16。その分に応じて＝人の分・自分の分・協力し合う分・神の分の識別。奉仕は「してあげている」という心ではなく、神の恵みで「させていただいている」という感謝の心が大切。教会員の分に応じた奉仕により、牧会者は、本分の「祈りとみことばの奉仕（伝道牧会を含む）」に専念できる。※ライトハウス教会の無牧の経験は宝。牧師の牧会と共に、信徒の方々による相互牧会（分かち合い祈りのグループ）が必須となる＝「キリストによって、からだ全体は、あらゆる節々を支えとして組み合わされ、つなぎ合わされ」：16。教会の大牧者であるキリストは、教職者と信徒を組み合わされ、つなぎ合わされ伝道と教会の建て上げに用いられる。

Ⅲ 祈り続けたい。「天のお父様。主の教会である札幌ライトハウス教会を建て上げるために、主のみことばで整えられ、牧会者も信徒も自分の分に応じた奉仕を通して主の教会が建て上げられますように。本日、札幌ライトハウス教会に主が立てられます工藤伝道師と奥様が祈り支えられますように。工藤伝道師ご夫妻と教会員の方々が整えられ結び合わされ良い協力関係で主の教会が建て上げられますように」